

た ぶ ん か き ょ う せ い



となりの暮らしの話から、
“共に生きる”を**考える**。

10.31 SAT
2026

13:00-15:30
開場 12:30

東広島市役所北館 1階会議室

「多文化共生」って、どこの、だれの話だろう。

遠くのだれかではなく、すぐとなりにある暮らしの話かもしれません。長く東広島で外国人住民と地域をつないできたゲストのお話に耳をかたむけながら、“ともに生きる”とはどういうことかを、いっしょに考える半日です。

■ 当日の流れ

- 🕒 13:00-14:15 **ゲストトーク | 片山 オフェリア氏** 75分
東広島で外国人住民と地域をつないできた歩みから、多文化共生のいまをうかがいます（質疑応答を含む）。
- 🕒 14:15-15:15 **対話ワークショップ** 60分
「多文化共生ってなんだろう」を、参加者みんなで話し合います。
- 🕒 15:15-15:30 **ふりかえり** 15分
語り合ったことを、これからの暮らしに持ち帰るかたちに整理します。



GUEST SPEAKER / 講師

片山 オフェリア氏 かたやま・おふえりあ

フィリピン出身。結婚を機に来日し、1990年代初頭から東広島市で暮らす。市内でフィリピン人コミュニティ「Filipiniana」を立ち上げ、「子どもと日本語で話したい」という地域の声を公民館へ届けたことをきっかけに、東広島市で初となる日本語教室の開設に関わった。自身も日本語を学び、以来約35年にわたって夫とともにタガログ語・英語の通訳・翻訳をはじめ、外国人住民と地域社会をつなぐ活動を続けてきた。現在も教会のコミュニティや広島大学の留学生、技能実習生などの相談役として、暮らしのなかのさまざまな困りごとに寄り添っている。

参加費 無料

定員 20名

対象 東広島市内に在住・在勤・在学の方

持ち物 不要

お申込み

右の二次元コードを読み込み、フォームに必要事項を記入してお申し込みください。

締切 10月26日（月）13時まで

※定員を超えた場合は、抽選または選考のうえ参加者を決定します。あらかじめご了承ください。

